

第
61
号

本願寺西山別院報

久遠
-QUON-〒615-8107
京都市西京区川島北裏町
29番地
Tel:075-392-7939
Fax:075-394-4416
e-mail: nishiyamabetsuin@
msa.biglobe.ne.jp本願寺西山別院
ホームページ西山別院の
「あんな情報」「こんな情報」
発信しています！

ホームページ



Instagram

本願寺西山別院 輪番
得度習礼所・教師教修所 所長
西山幼稚園 園長

中原 敬恵



備えあれば

憂いなし



今年も暑い夏が始まりました。一年一年、夏が始まるのが早くなり、猛暑日や酷暑日の日数が増え、「昔はこんなに暑くなかったよねえ」と話題に上がるようになったと思います。予報によると、今年は台風も平年以上の数が生まれることが予想されるそうです。すべての台風が日本に来るわけではありませんが、それでもちよっとうんざりします。

六月早々に、今年の日本上陸第一号（台風六号「チャンミー」）がやってきました。この寺報が皆さんの手に渡るころは、いくつの台風が日本に上陸しているのでしょうか。

台風が来ると聞いたとき、みなさんはどんな準備をしますか？食料を買い置きして、懐中電灯に電池を入れて、玄関や庭においてあるものを室内に取り込み、お風呂のお湯は貯めたままに。そんな感じで準備をされるでしょうか。

昼には必ず夜がある。

どうして夜の備えをしない人があろうか。

暑には必ず寒がある。

どうして寒の備えをしない人があろうか。

生には必ず死がある。

どうして死の備えをしない人があろうか。

何を夜の備えとするのか。灯火・寝具である。

何を寒の備えとするのか。衣料・燃料である。

何を死の備えとするのか。浄土往生である。



中国宋の時代の浄土教居士である王日休氏の言葉だそうです。昼があれば夜がある。暑い日があれば寒い日がある。私たちは当たり前のように、昼間を過ごしながら夜の灯りや体を休める準備をしています。暑い夏があ

れば寒い冬が来ることも知っているの、暖かいコートやふかふかのお布団、部屋を暖めるヒーターを準備しています。台風が来るならその準備を、いつ来るかわからない地震にも備えをしていますね。

では、生きている私は「死」を迎える準備がどれぐらいできているのでしょうか。

どんなに素晴らしい偉人であっても、どんなに素晴らしい宗教者であっても、「死」を避けることは出来ないのです。そしてそれは、今日までのいのちなのか、明日までのいのちなのか分からないのです。

しかしながら、私たちは当たり前のように今日生きていれば、明日も生きていると思ってしまう凡夫なのです。

蓮如上人がお書きになった白骨の御文章には、「我や先、人や先、今日とも知らず、明日とも知らず」と我がいのちの無常さを語られています。この世の無常、いのちのはかなさは、老若男女の区別がないので、後生の一大事「浄土往生」という大切なことに心かけ、阿弥陀様の智慧と慈悲の心をたよりとして、念仏生活を送らなければならぬのだとおっしゃっています。

今を生きる私たちはその備えとして、ともに後生の一大事を聞かせていただき、ともに念仏申す身とならせていただきますように。

浄土真宗の 生活信条

一、み仏の誓いを信じ

尊いみ名をとなえつつ

強く明るく生き抜きます

一、み仏の光りをあおぎ

常にわが身をかえりみて

感謝のうちに励みます

一、み仏の教えにしたがい

正しい道を聞きわけて

まことのみのりをひろめます

一、み仏の恵みを喜び

互にうやまい助けあい

社会のために尽します

令和八年 覚祖会

四月二十二日(水)二十三日(木)の二日間に行われ、
当院開基で本願寺第三代宗主の御命日法要「覚祖会」
が厳修されました。
ご法話は、「本願の船」の講題で、本願寺派布教使
葦原理江先生より節談説教にてお話をいただきました。

【四月二十二日】

速夜法要



初夜法要



【四月二十三日】

晨朝法要



日中法要



お斎



日中法要後、ご参拝の皆様と
お斎をいただきました。

覚祖会の準備風景

境内も美しく
調いました。



法要をお迎えする
前に「おみかき」を
いたしました。

書院の生花



中原輪番御廟参



覚祖前 輪番焼香



法要開始の喚鐘

【覚如上人】
かくによしようにん

一七〇〇〜一五五

本願寺第三代宗主

西山別院開基

親鸞聖人の會孫に当られ、
親鸞聖人の伝記である「伝
絵」(御伝鈔)や、報恩講の
由来となった「報恩講私
記」など多くのご著作を残
され、本願寺教団の礎を築
かれました。

当別院境内地の北西には御
廟所(お墓所)があります。

一三二五年(観応二)二月二十
三日、覚如上人は八十二歳
を一期として往生の素懷を
遂げられました。その前日
に、次の遺詠を詠んでおられ
ます。

南無阿彌陀
仏力ならぬ
のりぞなき
たもつ心も
われとおこさず



従覚上人「慕帰絵」所収

【現代語訳】

南無阿彌陀仏のみ教えに、阿彌
陀仏のはたらきによらないもの
はありません。たとえ私の(信)
心であっても、私が自ら起こし
たものではないのです。

覚祖会法話



講師
本願寺派布教使
熊本教区 芦北組
覺應寺衆徒
葦原理江 師

節談説教「本願の船」

生死の苦海ほとりなし
ひさしくしづめるわれらをば
弥陀弘誓のふねのみぞ
のせてかならずわたしける

(高僧和讃「龍樹讃」)



真実を持たない私には、迷いの海に沈んでいることを知ることが出来ないのです。そこから抜け出すことを願うことすらありません。私のすべてを見抜かれた阿弥陀さまが「その迷いを終わらせてあげたい」と願いを起こされ、その願いをそのまま完成されたお救いのおはたらきが南無阿弥陀仏であります。その、何の条件

も満たすことの出来ない私のためのお救いに「称えなければ、信じなければ」と条件をつけているのは私の方なのです。お念仏は、私をお浄土に迎え取り、仏と成してくださる阿弥陀さまのお救いのお手だてであり、今ここに安心を与えたいという、お慈悲のお喚び声であります。そこに、私の計らいを加える必要はなく、ただ、南無阿弥陀仏といただいて参るばかりであります。

私が二十代の時、結婚式の披露宴でフランス料理がはまりました。席に着くと、正面の大きなお皿の上に置かれたナプキンがあつて、その両サイドにナイフとフォークとスプーンがズラーツと並んでいました。(面倒くさいなあ) と思いながらお料理を待っておりますと「オードルでございます」と運ばれてきたお料理。大きなお皿のひとまわり小さい大きなお皿の中央に、これでもかというくらい小さなお料理！(たったこれっぽっちか) と思いながら、見た目は綺麗やが、何かわからんので「おしながき」を読んでみるんですが読んでみてもわからん。更には食べてもわからん代物でございます。(私は今、何を食べさせられようかな?) と思ひながら、恐る恐る一口いただきますと：やはり何かはわからないんですが、その食材とソースが何ともいえず相まって口いっぱいに広がりますして「何かわからんけど美味しかねえ」と皆で味わっております。

あのお料理は、フランス料理を習得したシェフが、腕によりをかけて作った一品であります。そのお料理に對しまして「すみませーん！お醬油もらえますか！」と頼む方はないわけです。それが何で出来ているのか、どうやって作ったのかわからなくても、完成されたお料理に手を加える必要はなく、差し出されたままいただいて味わうばかりであります。

お念仏は、私のすべてを見抜かれた阿弥陀さまが、私のために完成されたお救いのおはたらきであります。すでに完成しとるんです。何も計らうことなく、ただ、南無阿弥陀仏といただくところに、お慈悲を味わわせていただくばかりなのであります。

へ苦悩の解決すべもなく 頼む心も起こらねど その私がお目当てと 南無阿弥陀仏となりたもう 放っておけぬ捨てられぬ わが子の苦しみ思いては はかり知れないご苦勞を わが子の悲しみ思いては あきることなく 喚び続け 今ここに南無阿弥陀仏― 称六字

節談説教とは？

仏教を伝える時の話し方に特徴ある抑揚(節)をつけて、人々に対してより伝わりやすいように工夫された説教です。その芸術性から、落語、講談、浪曲、浄瑠璃などの話芸の母体となったと言われています。

第4回

日時 四月四日(土)

in西山別院

さくらまつり

当日は、雨もようでしたが「さくらまつり」を開催いたしました。

遠近各地より多くの方々にご来院くださいましたこと、心より御礼申し上げます。西山別院とぎんなん会(西山別院の卒園児保護者会)の共催で、4回目の開催でした。

境内地南側には、キューバサンド、お蕎麦、てんぷら、カレー、たこやき、クレープなどのキッチンカーがやってきました！また、特設テントには、お弁当、おにぎり、シフォンケーキ、レモンコーヒーなど美味しいメニューが並び、桂高校のお野菜とお花の販売会も開かれました。

対面所のゲームコーナーも充実。輪投げ、ヨーヨー釣り、射的、ストラックアウトのほか、空き缶タワーやペットボトルボウリングで楽しんでいただきました。

大玄閣付近では、西山別院書道教室の皆さんの力作が展示され、書の芸術文化にふれていただきました。

本堂では、僧侶の雅楽伴奏による舞楽「蘭陵王」の上演、バレエパフォーマンス、絵本の読み聞かせ、ストレッチ体験が催され、本堂縁側の物販ブースのフリーマーケットでは、手作りの暮らしを彩る雑貨や掘り出し物が並びました。

約五百人を超える方々の来院で大盛況の一日となりました。



バレエパフォーマンス



ストレッチ体験



射的遊び



ピンポン玉入れ



紙コップ釣り



舞楽「蘭陵王」



手作り！



書道展



キッチンカー



お野菜&お花の販売



美味しいお弁当

ぎんなん会
SDGsコーナー掘り出し物
いっぱい♪

お知らせ

いちようまつり

in西山別院

木々が赤や黄色に色づく美しい時期に「いちようまつり」を開催予定！

七五三奉告法要、ゲームコーナーなどの行事のほか、フリーマーケット、キッチンカー等。

ぜひ遊びに来てください！

開催日：二〇二六(令和八)年

十一月三日(火)祝雨天決行

開催場所：本願寺西山別院境内地

入園式

四月十日(金)



四月十日(金)、今年も真新しい制服を着た子供たちが本堂に集まってきました。外はひっきりなしに雨が降っていましたが、堂内は保護者のニコニコの笑顔と子どもたちの緊張した顔で温かい雰囲気。

令和八年の入園式は、年少さん二十五名、年中さん二名の新入園児です。

ののさまへのご挨拶をした後は、先生に名前を呼んでもらってお返事にチャレンジ。年中さんはさすがにしっかりと「はい」と答えますが、年少さんはちよつと照れてしまいました。

これから、ニコニコののさまに見守られて、たくさん遊んで、たくさん笑って、元気に過ごしてくださいね。



園長先生のお話



西山幼稚園



合掌



蠟燭を持って
上手に歩けたよ



ナモアミダブツ

本堂参拝

四月二十四日(金)

四月二十四日(金)は、全園児そろっての本堂参拝の日です。最年少のいちご組の子どもたちも、よいしよよいしよと本堂へはいってきます。

まずは、年長組の代表のお友達が献灯献華献香を行います。ののさまの前にお供えをして、お勤めの準備を整えてくれました。

続いて、園長先生がお焼香をしてお勤めをします。年長さんや年中さんが、大きな声でお勤めをリード！そのあとは、園長先生が「ナモアミダブツ」についてお話してくださいました。

これからもたくさんお参りをし、ののさまのお話をたくさん聞いて、やさしい子どもに育ってくださいね。

第9回 西山別院フードドライブのご報告

「もったいない」から「ありがとう」へ

西山別院9回目のフードドライブ(令和8年3月17日~4月8日)を開催いたしました。

今回もお菓子やインスタント食品、レトルト食品、飲み物、缶詰等たくさんの方の食糧が集まり、合計32.7kgをフードバンク京都へお渡しすることが出来ました。ご協力賜り有り難うございます。



次回は令和8年8月1日~8月31日に開催いたします。ご協力お願いいたします！
賞味期限が10月15日以降のものをお願いいたします。

「貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～」

— 子どもたちを育むために —

子どもたちの笑顔のために募金のご報告と御礼

浄土真宗本願寺派(西山別院)では、「自己共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」という理念のもと、「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)を推進しています。その取り組みとして「子どもたちの笑顔のために募金」のご協力をお願いいたしましたところ、お心こもる募金が寄せられました。皆様からの募金は、浄土真宗本願寺派重点プロジェクト推進室を通じて、関係団体へ送られ国内外の子どもたちへの支援活動に充当されます。ご協力賜り、厚く御礼申し上げます。



盂蘭盆会のご案内

亡くなられた先人たちのご恩に対し、あらためて思いを寄せるのがお盆です。

仏さまの国に往生された懐かしい人たち。阿弥陀如来さまの願力によってすみやかに悟りをひらかれます。そして、大いなる慈悲の心をおこし、迷いのこの世に還り来たりて、私共を真実の道へと導こうと常にはたらかれます。

本願寺西山別院では、八月十四日(金)に本堂において、盂蘭盆会を厳修いたします。また、同日の十四日より共同墓碑『和合海』の盂蘭盆会を厳修いたします。このお盆をご縁として、仏さまの教えを聴聞させて頂きましょう。

西山別院の盂蘭盆会について

日時 2026(令和8)年 **8月14日(金)**
9時30分～10時15分

初盆の方は、次のいずれかの時間にお参りください。

初盆(一座目):10時30分～11時15分(要予約)

初盆(二座目):11時30分～12時15分(要予約)

場所 本願寺西山別院 本堂

共同墓碑『和合海』の盂蘭盆会について



日時 2026(令和8)年 **8月14日(金)**
14時～14時30分

場所 本願寺西山別院
共同墓碑『和合海』の前にて

秋季彼岸会のご案内

彼岸とは、「さとりの世界」の意味で、仏となられた懐かしい方々がおられる阿弥陀如来の西方浄土のことです。彼岸会は、迷いのこの岸をはなれて、さとの彼岸にいたることのできる仏さまの教えを聴聞させて頂く法要です。

阿弥陀如来に抱かれて、先に浄土へお生まれになられた方々に導かれて、彼岸へと続くただ一つの道、この念仏の道のお謂れを共に聴かせて頂きましょう。

本願寺西山別院では、九月二十三日(水)に本堂において、秋季彼岸会を厳修いたします。

西山別院の秋季彼岸会について

日時 2026(令和8)年
9月23日(水・祝)
午前10時～
(正午ごろ終了予定)

場所 本願寺西山別院 本堂

講師 本願寺派布教使
みづかみ よしのり
水上 義乗 師
(滋賀教区 愛知上組 圓光寺住職)

講題 「二河白道」に学ぶ

お寺の大事なお仕事

輪灯の芯を整える



ご本尊前の輪灯

輪灯は、尊前にある卓の両側に天井から吊り下げられている灯明具です。

ご本尊の阿弥陀さまや親鸞聖人の御影を荘厳する大切な仏具の一つで、輪のデザインは菊や牡丹で、美しく灯る光は、阿弥陀さまが私どもを照らし、お念仏のみ教えへと導いてくださる智慧のおはたらきを表しています。

写真は、輪灯の芯を整えている様子です。一見すると地味な作業に見えるかもしれませんが、芯が曲がっていたり乱れていたりすると、光がきれいに見えなくなってしまう。そのため、一本一本の芯を確かめながら、丁寧に整えていきます。



輪灯のお手入れ

別院本堂へお参りされる時には、輪灯の光にも注目してください。有難いです。

慈しみの
お話
vol.6

ありがとう ありがとう

文 亀井 遊学
おおづし わかな
絵 大辻子 和奏



なつやすみ。
じいじと ばあばの おうちにやってきて
いっしょに スイカをたべている。

「じいじと ばあばはね ぼくちゃんが
あいにくしてくれて うれしいよ」

「ぼくが おおきくなったら いろんなところに
つれていってあげるね」

「ぼくちゃん ありがとう ありがとう」

ブーンと せんぶうきが まわっている。
おいしいスイカで おくちが ベタベタ。
じいじと ばあばの やさしい おかお。

ぼくの あたたかな おもいで。

インド紀行 佛足に額づいて②

西山別院仏教婦人会員
柳瀬千代子



一九八八（仏歴二五三）年一月二十日～二月三日

仏教の開祖である釈尊が、お生まれになり、悟りを開かれ、法を説かれ、入滅された地インド。日本人が古より「天竺」と仰いできたインド。かつては遠い遙かな国「天竺」も今では日本から飛行機で八時間ほど。釈尊の足跡を慕い巡拝された柳瀬千代子さんの紀行文です。

一月三十日

その3

ボパール着

人口約八十萬。四年前、ガス事故のため死者を出した町という。低い山と、やはり農地と牛と木々と岩肌とが目だつ。ここにはシーク教徒が多いという。

「聖地サンチ」

これは又何という膨大な佛聖の地であるう。アショカ王によって建てられた東西南北の彫刻の門、それらの一つ一つの彫刻は佛在世の様々な姿、修行など一つ一つが細やかにドラマ的に眞実として刻まれている。



サンチ第1塔



サンチ第2塔



やわらかき
木を彫る如く
石塔の
サンチの佛塔
今仰ぎ見る
花の香の
こぼるる如き
佛塔の
彫みのれんげ
その美しき



サンチ第3塔前で

覚悟(かくご)

「覚悟」して
やらなキヤ...

庭の草むしりに
溜めに
溜めた
部屋の
片づけ...

「覚悟」して
やらなキヤ...



①

暑い、
蚊にも刺さ
れるし...
遊ぶたい
!!

「やだよ」
「あら...」
「あきらめ
が悪い
ばあ...」

②

「たしかに...
「覚悟」には
「あきらめ」
という意味もあるけど
もともと仏教の言葉で
「迷いを去り、道理を
さぐる」という意味が
あるんだよ。(広辞苑より)
だから、やらなキヤ
いけなキヤは真実
にする方がいいよね。」

③

よし、覚悟決まったよ!
ボクが真にやりたい
ことは遊ぶこと!!
...と、いうわけで、
草むしりと片づけは
あきらめました!!

「ズコーッ!!」
「あ...」
「カッ」

MARU



あなたのお便りや写真をお寄せください。

送り先
〒615-8107
京都市西京区川島北裏町 29 番地
本願寺西山別院「久遠お便り」係
e-mail: nishiyamabetsuin@msa.biglobe.ne.jp

投稿には、お名前(ニックネーム可)、ご住所、お電話番号をお忘れなく、作品は、必ずご紹介できるとは限りません。また、作品のご返却はいたしかねますので、あしからずご了承ください。



こんな写真あんな写真

今回も別院職員からの別院あれこれ投稿です



みんな大きくなったお

桜満開のある日
西山幼稚園を卒園した
ほとけの子どもたちが
素敵な姿を見せに
来てくれました。



ピカピカの一年生になったよ!



男の子あつまれー!

みんなピカピカ!
かっこいいかわいい
一年生!



女の子あつまれー!

たくさん学んで
たくさん遊んで
スクスク大きくなってね。



先生とパチリ☆

これからの成長も
ずっと楽しみに
しているよ
入学おめでとう!

【投稿規定】ハガキに三句以内
住所・名前(年齢)・俳句は楷書で
久遠「俳壇」まで
※他紙誌への二重投稿はお控えください。

皆さんからの
投稿句を
お待ちしております!



蟬のふ化
羽色かわりて
飛びを待つ

京都市西京区
T・T

久遠俳壇

入所のご挨拶



うきはしゅうま
浮橋秀真

皆様、はじめまして。
今年度より、本願寺西山別院
に奉職させて頂いております。
福井教区邦中組浄法寺衆徒の
浮橋秀真と申します。以前は、
「親鸞聖人(往生の地)」の本願
寺角坊に奉職しておりました。
西山別院には角坊にご縁のあ
る方々も多くおられますので、
再びお会いできることを楽し
みにしております。中原輪番
をはじめ諸先輩方、そして皆
様のご指導・鞭撻を賜りなが
ら、一歩ずつ成長してまいり
たいと存じます。よろしくお
願い申し上げます。
合掌